

# 令和 2 年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第 9 条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

令和2年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(見本)理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	教科	種別	学年
1	あかね書房	一年生の漢字えほん	国語	知的障がい	小学部6年
2	あすなる書房	テーブルマナーの絵本	生活	病弱	小学部6年 (重複学級)
3	アリス館	おたのしみ じどうはんばいき	国語	病弱	小学部4年 (重複学級)
4	アリス館	トーストン	職業・家庭	病弱	中学部2年 (重複学級)
5	岩崎書店	どうぶつことばあそび	国語	知的障がい	小学部4年
6	学研プラス	どんぐりむらのいちねんかん	生活	聴覚障がい	小学部5年 (重複学級)
7	KTC中央出版	カッターであそぼう!	美術	知的障がい	中学部2年
8	講談社	いまなんじ?音の出る学習時計えほん	算数	知的障がい	小学部6年
9	交通新聞社	100までかぞえるでんしゃの1・2・3	数学	知的障がい	中学部1年
10	小学館	てんじつき さわるえほん テルミのめいろ	国語	視覚障がい	小学部3年 (重複学級)
11	世界文化社	ワンダーおはなし絵本 おともだちカレー	生活	知的障がい	小学部4年
12	大日本絵画	たのしい いろいろ えほん	図画工作	知的障がい	小学部2年
13	大日本絵画	どこどこ、どっち?	国語	肢体不自由	小学部3年 (重複学級)
14	大日本絵画	にぎやかのももの	国語	肢体不自由	小学部2年 (重複学級)
15	大日本絵画	はじめてのオーケストラ	音楽	肢体不自由	中学部1年 (重複学級)
16	チャイルド本社	ちきゅうのためにできる10のこと	生活	知的障がい	小学部6年
17	徳間書店	ムーミンの さわってあそぶえほん	生活	視覚障がい	小学部2年 (重複学級)
18	永岡書店	世界一周 めいろのたび	社会	知的障がい	中学部2年
19	PHP研究所	47都道府県を旅しよう! にっぽん全国のさがしもの	社会	聴覚障がい	中学部1年 (重複学級)
20	ひかりのくに	指さし・指なぞり あいうえお	国語	視覚障がい	小学部3年 (重複学級)

2 一般図書選定の理由書(次頁)

## 一般図書選定の理由書

番	1
号	

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	一年生の漢字えほん	発 行 者 名	あかね書房		
図 書 の 内 容	<p>本書は、小学1年生で習う漢字80字について学ぶことができ、漢字学習の入門期に適した内容と構成になっている。漢字一字に対して、音読みや訓読みでの読み方、成り立ち、漢字の使い方がイラストたっぷりで紹介されており、見やすく、漢字への興味・関心を引き出すよう工夫されている。また、付属の「まほうシート」を本書の右ページの絵の部分にのせて動かすと、絵を漢字に変身させたり、漢字を見つけたりして遊びながら覚えることができる。漢字が大好きになるような内容の絵本である。</p>				
対 象 学 年	小学部6年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達が5歳程度で、ひらがな、カタカナの読み書きができ、身の回りの物の名称を知っており、漢字にも興味をもつようになってきている。自分の名前も画数が少ない漢字の部分のみではあるが、書こうと意欲的である。</p> <p>漢字への関心をもつ本児にとって、本書で漢字を学習することで、漢字へのさらなる興味を広げ、読み書きの定着を図ることができると思う。単に漢字を覚えるだけではなく、イラストで示された成り立ちや付属シートを使った学習を通して、漢字の理解につなげたい。スムーズに漢字学習を進める上で、本児にとって、本書は効果的であると思う。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 知っている漢字を見つける。  (2) 指でなぞって、漢字の形をとらえる。  (3) イラストで示された成り立ちを見て確かめる。  (4) 送り仮名、音訓読みに気をつけながら、言葉や熟語を読む。  (5) 付属シートを使って、漢字を覚える。  (6) 当漢字、言葉、熟語をワークシートに書く。  (7) 当漢字を用いた身の回りの言葉や熟語、カードに書く。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	2
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	テーブルマナーの絵本		発 行 者 名	あすなる書房	
図 書 の 内 容	<p>本書は、基本的な食事マナーについてイラストと文章で分かりやすく示している絵本である。和食、洋食における食べ方や外食時の注意点など多様な場面を想定した内容であり、学校生活においては給食、調理活動、お楽しみ会や校外学習などに生かすことができる。技術的な内容に加え、食事に対する感謝の気持ちや季節ごとの食事の楽しみ方にも触れており、家庭生活での活用にも期待がもてる。みんなで楽しく、おいしく食事をするためにはどうしたらよいかと考えるきっかけになる絵本である。</p>				
対 象 学 年	小学部6年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、入退院を繰り返す内臓疾患があり、軽度の知的障がいを併せ有している。生活場面や学習場面に活動制限があり、生活経験が少なくなりがちであるものの、調べ学習や実験、見学などの体験的な学習に対しては意欲的である。また、友達や教師と行う調理活動を楽しみにしている生徒である。</p> <p>本生徒と一緒に本書を読み進めながら、食事のマナーについて意識し、できそうなマナーから取り組んでいきたいと考える。併せて、食べ物や物を大事にする気持ち、人に感謝する気持ちをもつことにも繋がると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に本を見る。  (2) 自分のやり方や食べ方との違いを考える。  (3) 取り組めそうな正しいマナーをまとめる。  (4) 給食、調理活動、お楽しみ会や校外学習などの場面で取り組む。  (5) 気付いたことをまとめる。発表する。  (6) 家や病院などでも取り組む。  (7) 気付いたことをまとめる。発表する。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番	3
号	

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	おたのしみ じどうはんばいき		発 行 者 名	アリス館	
図 書 の 内 容	<p>本書は、自動販売機に見立てた縦開きの絵本で1から10までのボタンが描かれている。数字のボタンを押すと、「いちご」や「にんじゃ」、「さんたくろーす」、「しらす」などの数字の頭文字と対応した物が次々と出てくるストーリーである。様々な擬態語や語呂の良い文章が使われており、言葉遊びを楽しみながら読んだり話したりすることができる。</p>				
対 象 学 年	小学部4年（重複学級）	障がい種別	病弱	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達が4歳程度で、慢性疾患のため長期入院をしている児童である。病状の変化に伴い、日常生活において支援を必要とし、外出の経験が少ない。</p> <p>本書を活用して、数字や言葉、自動販売機への興味・関心が広がり、病院内での買い物学習に繋がることが期待できる。また、絵本で紹介されている「ごろごろ」や「ぱらぱら」、「がらがら」の擬音や表現の面白さもあり、本児が楽しみながら学習を進めることができると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵に注目しながら、教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 擬態語や文章をトーンやリズムを変えながら読む。</p> <p>(3) 「1」ボタンを押すと「いちご」が出てくる理由を考える。</p> <p>(4) 他に「い」や「いち」で始まる言葉を考える。</p> <p>(5) 「2」～「10」のボタンまで繰り返す。</p> <p>(6) オリジナル自動販売機を作る。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	4
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		トーストン	発 行 者 名	アリス館	
図 書 の 内 容		<p>本書は、食パンの「トーストン」が曜日ごとに違った食材と出会い、美味しいトースト料理に変身していく絵本である。曜日ごとに違ったトースト料理が登場するため、毎日の食事が楽しくできたり、実際に調理活動をしたくなったりする絵本である。</p> <p>紹介されているトースト料理としては、「ジャムトースト」「ベーコンエッグトースト」「フレンチトースト」「ピザトースト」など7種類がある。本書は、ページが進むごとに作り方が難しい物が紹介されており、段階的に取り組むことができる。</p>			
対 象 学 年		中学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科 職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達に6歳程度で、慢性疾患のため入退院を繰り返している生徒である。病状の変化に伴い、日常生活において支援を必要とし、生活経験が不足している。また、食べることへの関心が低い。</p> <p>本書を活用して、食べることへの興味・関心が広がり、学級場面での調理学習や買い物学習に広がることを期待できる。また、絵本で紹介されている曜日についても月曜日からストーリーが始まるため、一緒に確認することで曜日感覚や生活リズムの習得にも役立つと考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 絵に注目しながら、教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 7種類のトースト料理ランキングを作成する。</p> <p>(3) 出てくる食材の名称を実物と一緒に確認する。</p> <p>(4) 紹介されている順番でトースト料理の調理学習を計画する。</p> <p>(5) 調理学習の計画を学習シートに記録する。</p> <p>(6) 買い物計画を立て、調理に必要なものを購入する。</p> <p>(7) トースト料理の調理学習をする。</p> <p>(8) 7種類のトースト料理ランキングを見直し、まとめる。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	5
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	どうぶつことばあそび	発 行 者 名	岩崎書店		
図 書 の 内 容	<p>本書は、折句や回文などの言葉遊びをとおして、楽しみながらことばに親しめる図書である。</p> <p>内容は、「あいうえおことば（折句）」、「そっくりことば（一字ちがい・だじゃれ）」、「おなじことば（同音異義語）」、「さかさことば（回文）」、「かぞえうた」などになっている。ゆかいな動物たちが登場し、ユーモアあふれるイラストと文章で、子どもたちは楽しく、興味をもって読むことができる。そして、声に出して繰り返し読むことで、子どもたちは自然に言葉を覚えることができる。さらに、自分たちで「そっくりことば」を生み出すこともできる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達が4歳程度の児童である。日常生活では、部分的な支援を必要とするが、身の回りのことが一人ででき、簡単な言葉での指示を理解して行動することができる。絵本を見るのが好きで、好きなキャラクターの絵を指さしては名前を話していることが多い。また、自分の名前の平仮名は書くことができ、平仮名50音の半分程度は読むことができる。</p> <p>本書では楽しいイラストを見ながら、平仮名を一文字ずつ読むことから、文章として平仮名を読むことへ発展させることができる。さらに、声に出して読むことを繰り返すことで、言葉の習得や理解につなげることができると思う。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) ページをめくって絵を確認する。</p> <p>(2) 教師と一緒に文字を指でたどりながら読む。</p> <p>(3) 教師の音読の後に繰り返して音読する。</p> <p>(4) 一人で文を読む。</p> <p>(5) 好きな文を選び、みんなの前で音読する。</p> <p>(6) 教師と一緒に「そっくりことば」を考える。</p> <p>(7) 考えた「そっくりことば」を発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	6
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	どんぐりむらのいちねんかん		発 行 者 名	学研プラス	
図 書 の 内 容	<p>本書は、「どんぐりむら」の一年間を1月から12月まで順番に紹介している絵本である。設定は「どんぐりむら」であるが、日本の一般的な四季折々の暮らしや行事などを記している歳時記でもある。一冊で一年間を見通したり、振り返ったりすることができる絵本となっている。可愛いどんぐりたちのお話となっているため、子どもは親しみやすく、とりかかりやすくなっている。また、一年を振り返るクイズ付きとなっているので、子どもの知識の定着を図ることができる。</p>				
対 象 学 年	小学部5年（重複学級）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、聴力が左右とも78dBの聴覚障がいと知的障がいを併せ有している児童である。補聴器を活用してゆっくり大きな声で話してもらうことで、言葉を聞き取ることができる。知的発達に5歳程度であり、日常生活はほぼ自立しているが、生活経験が少なく、社会体験に乏しく、興味・関心の幅が狭い。</p> <p>本書を活用して、一年間を見通しをもって生活を送ることができるようにしたい。四季折々にふれて本書を活用することで、実際の生活場面と結び付け、関心を広げることができると思う。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 順番にページを開き、教師と一緒に文章を読む。  (2) 絵を見ながら、行事等の確認をする。  (3) 該当の月になったら、該当のページを開き、季節の確認をする。  (4) 本書に載っている自然、行事を体験する。  (5) (3)(4)を年間繰り返す。  (6) 体験した事柄を写真などに撮っておき、一年間まとめて振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。



## 一般図書選定の理由書

番 号	7
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	カッターであそぼう！	発 行 者 名	K T C 中央出版		
図 書 の 内 容	<p>本書は、カッターを使って生み出すアイデアが施されている。直線に切る、ギザギザに切る、パズル、お面、糸につるしてモビールなど、様々な作品が紹介されており、どれも作ってみたくなるワクワクする内容である。本書を活用することで、カッターに興味をもち、意欲的に取り組みたいという気持ちを引き出し、さらに自分のアイデアを広げ、豊かな情操の育成を図ることができると期待される。</p>				
対 象 学 年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	美術
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達が9歳程度で、小学校では特別支援学級で学び、中学部からは特別支援学校で学習している生徒である。生活全般においては、おおむね自立しており、どの活動においても意欲的な姿勢を見せている。これまで、カッターやのこぎり、かなづち、ペンチなどの用具を扱う活動は一通り経験しており、安全に使って創作活動を行ってきた。</p> <p>カッター遊びに特化した本書を活用することで、本生徒にとって用具の使い方を習熟するとともに、材料の選択や使い方の工夫とあいまった能力の育成が期待できる。カッターの使い方の工夫で、想像したことや感じたこと、見たことなどから本生徒の楽しく豊かな感性を引き出したいと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 76、77 ページでカッターの使い方を確かめる。  (2) ページに掲載している物を見て、まねて作る。  (3) パズルやお面、風車、モビールを自分の発想で作る。  (4) 作った作品の題名、工夫した点やおもしろさをカードに書く。  (5) 作った作品を友達に見せ、発表する。  (6) (3)～(5)を繰り返す。  (7) 作った作品を展示し、他生徒に鑑賞カードに書いてもらう。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	8
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		いまなんじ？ 音の出る学習時計えほん	発行者名	講談社		
図 書 の 内 容		<p>本書は、時計の長針と短針の読み方が楽しく学べる絵本である。くるくると針を回してボタンを押すと、1分刻みで「〇時〇分」と音声で時間を教えてくれる。また、「〇時〇分に時計の針をあわせてね」などと時計合わせの問題も収録されている。問題はランダムに出題されるので、飽きることなく何度でも挑戦できるようになっている。また、12時間制と24時間制の対応にもふれ、「15時は何時かな？」などのクイズも出題してくれる。さらに、「〇時の1時間半後は何時？」などの発展した時刻の問題も出題されるようになっている。</p>				
対 象 学 年		小学部6年	障がい種別	知的障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が6歳程度の児童である。身辺処理はほぼ自立しており、一日の予定や一週間の予定などはある程度見通しをもって生活している。休み時間の終わりや授業の始まりの時間などはタイマーを見ながら意識して行動している。</p> <p>本書は、針が示す時間を音声で教えてくれたり、音声の時刻を針で示すことができるようになっており、アナログ時計を学習するにはとても有用である。正解をすぐに確認できることで、学習効果も上がると考えられる。さらにステップアップして24時間制の読み方や「～分まえ」「～分すぎ」の学習ができるようになっており、児童の理解の状況に応じて発展した学習もできる。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に「とけいのよみかた」を読む。</p> <p>(2) 長針を動かし、長針に合わせて短針が動くことを確認する。</p> <p>(3) 教師に動かしてもらった時計の針を読む。</p> <p>(4) ボタンを押して音声を聞き、正解したかどうか確かめる。</p> <p>(5) (3)、(4)を繰り返す。</p> <p>(6) 教師と一緒に示された時間に時計の針を合わせる。</p> <p>(7) ボタンを押して、読み上げられた時間に時計の針を合わせる。</p> <p>(8) 教師と一緒に「じかんクイズ」を読む。</p> <p>(9) 教師に出題してもらった「～分まえ」「～分すぎ」に時計の針を合わせて時刻を読む。</p> <p>(10) 「じかんクイズ」に答えたり、答えあわせをしたりする。</p>				

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	9
--------	---

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	100までかぞえるでんしゃの1・2・3	発 行 者 名	交通新聞社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、電車など鉄道に関係したもので、100までの数を数えられる写真絵本となっている。大好きな電車と一緒に数に親しむことができるように工夫された内容となっている。見開きで、片方には電車などの写真、もう片方には数字が大きく掲載されている。数字の読み方や丸玉を併記し、ひとつひとつ指さしをして数えることで数の概念が身に付くようになっている。また、「0」の説明や量や長さを比べるページもあり、数に加え、数量の学習にふれることもできるようになっている。さらに、カバーの裏は、数の表になっていて、本から外して壁などに貼って、数えることができるようになっている。1から100までの一覧表は順番に数えるだけでなく、「1、11、21…」と10ずつ増える数を縦に読むこともできるようになっている。</p>				
対 象 学 年	中学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	数学
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、発達段階が4歳程度の知的障がいの生徒である。細かな支援は必要であるが基本的な生活習慣は、ほぼ確立している。乗り物が大好きで特に電車を好み、乗り物の絵本をいつも見ている。和が10までの足し算は丸を書いて数えることでできるようになってきた。30くらいまでの数字を読むことができる。</p> <p>本書は生徒の大好きな電車が沢山掲載されていることから、興味を持って数の学習に取り組むことができると考えられる。電車や電車関連の物が数字と同じ量の掲載されていることから、視覚的にも数を量として捉えやすくなっている。数字だけでなく、数量の学習にも発展させることが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自由に絵本を楽しむ。  (2) 教師と一緒に電車などの数を数えてから数字を読む。  (3) 教師と一緒に丸玉を指さしして数えてから数字を読む。  (4) 一人で(2)(3)を繰り返す。</p>			

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	10
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	てんじつき さわるえほん テルミのめいろ		発 行 者 名	小学館	
図 書 の 内 容	<p>本書は、日本児童教育復興財団による隔月刊の絵本『手で見える学習絵本テルミ』の200号を記念して出版された、点字つき絵本である。テルミの連載で人気のある「めいろコーナー」から、名作迷路17本を抜粋して掲載されている。点字だけでなく、触って楽しめるイラストもついており、どのページから挑戦しても良い。また、盛り上げ印刷で印刷されているので、繰り返し触ることができる丈夫な作りである。点字学習の入門期から活用できる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部3年(重複障害)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、知的発達が5歳程度で、徐々に視力が低下している児童である。点字学習を始めたばかりで、点字を触ること、一文字ずつ点字で読むことに取り組んでいる。語句として読む練習にも取り組んでおり、短い語句、慣れ親しんだ語句は読むことができる。技術的にまだ未熟なため、集中して取り組むことが難しいが、点字を読み取れたときは満足感を感じている。</p> <p>「右」「左」などの方向を示す言葉を言いながら取り組むことで滑らかにたどったり、長く集中する姿が見られる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 点字や迷路の盛り上がり部分を触る。          (2) 点字を一文字ずつ読む。          (3) 線と線の間を指でたどり、迷路に取り組む。          (4) 方向を示す言葉を言いながら迷路に取り組む。          (5) 迷路を進みながら途中の語句を読む。          (5) ゴールからスタートまで、逆バージョンの迷路に取り組む。</p>			

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	11
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	ワンダーおはなし絵本 おともだちカレー	発 行 者 名	世界文化社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、絵の中から友達を見つける「探しページ」とカレーを指でこすると、カレーのにおいがする「香料印刷ページ」の2つの仕掛けがある絵本である。ストーリーの中で、友達と一緒に遊ぶことの楽しさ、大切さを教えてくれる絵本である。また、すべて平仮名で書かれているため、子どもが1人で読み進めやすい絵本となっている。</p> <p>ストーリーの中で、友達とカレーライス作りをする様子もあり、調理活動にも学習を広げることができる。</p>				
対 象 学 年	小学部4年	障 がい 種 別	知的障がい	該 当 教 科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達に4歳程度の児童である。日常生活では、言語指示を理解して行動することができるが、友達との関わり合いに消極的な様子が見られている。1人で絵本を見るのが好きで、知っている食べ物や動物の名前を話している。平仮名に興味をもっており、50音の半分程度を読むことができる。</p> <p>友達との関わり合いが題材となっている本書を通して、友達と一緒に活動する楽しさを伝え、コミュニケーションの広がりにつなげてほしいと考える。</p> <p>また、絵本の読み聞かせからカレーの調理活動の学習単元を計画することで本児がより主体的に調理活動に取り組むことができると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 「探しページ」を教師や友達と取り組む。</p> <p>(3) 「カレーのにおいページ」を教師や友達と楽しむ。</p> <p>(4) カレーライスの調理計画を立てる。</p> <p>(5) 材料を確認する。</p> <p>(6) 学級でカレーライスを作って、みんなで食べる。</p> <p>(7) 自分たちの作ったカレーライスと絵本のにおいを比べる。</p> <p>(8) 調理活動を学習シートにまとめる。</p>			

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	12
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	たのしい いろの えほん	発 行 者 名	大日本絵画		
図 書 の 内 容	<p>本書は適度な厚みで、16ページにわたり60以上のめくりを開けて、同じ絵を探したり、色のたし算をしたりしながら楽しく色を学ぶことができる内容となっている。「かくれんぼのもり」では、シルエットに適した色を見つける内容で、「にぎやかなまち」では、シルエットの色をヒントにした色のマッチングを遊びながら学ぶことができる。さらに、深緑、紺色、薄桃色などの色の濃淡についても学習できる。加えて、水玉、縞模様、チェック柄などの模様にも関心をもてるよう工夫されている。</p>				
対 象 学 年	小学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	図画工作
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達が4歳程度の児童である。絵を書くのが好きで、これまではクレヨンやオイルパステルを使った、自由な絵画を描く活動が多かった。様々な活動を通して、手指の巧緻性も向上しつつある段階になってきたので、水彩絵の具を使った絵画に親しみ、活動の幅を広げていきたいと考える。</p> <p>本書の活用を通して、色の学習だけではなく、簡単なシルエットを模倣した絵を描いたり、同じ色を作ってみたりするなど、活動の積み重ねができると思う。また、色のたし算では、実際に水彩絵の具で色を混ぜて新しい色を作り、さらに自分で工夫した色のたし算にチャレンジする活動を取り入れたい。本書を通して、絵画のみではなく、造形遊びへもつなげられると期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 自由にページを開き、しかけを楽しみながら、知っている色や物の名前を言う。  (2) クレヨンやオイルパステルの色とマッチングしながら、色の名前を復唱する。  (3) 「いろいろれっしゃ」で、同じ順序で車両を描く。  (4) 「かくれんぼのもり」で、森に隠れているシルエットを見つけ、絵を描く。  (5) 「おしゃれなぺんぎん」で、蝶ネクタイと同じ色の魚を見つけ、絵を描く。  (6) 「にぎやかなまち」で、シルエットと色をヒントに絵を見つけ、絵を描く。  (7) 「いろのたしざん」で、水彩絵の具を使って、同じように色を混ぜて色を作る。  (8) 「さがしものは…」で、探している模様を見つけ、真似て描く。  (9) 水彩絵の具で、自分で考えた新しい色を作る。  (10) (3)～(8)を繰り返し、自分で工夫した色づかいで描く。</p>			

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	13
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		どこどこ、どっち？	発 行 者 名	大日本絵画		
図 書 の 内 容		<p>本書は、ページの凸凹に指を置いて「スタートの穴」から「ゴールの穴」まで指を動かしていく、運筆や探索の素地を学習できる内容となっている。また、各ページには、「〇〇を見つけて」という探し絵の仕掛けもあり、楽しみながら指さしが行える。</p> <p>本の仕掛けは、すべて見開きで左から右へなぞる形となっているため、児童にとって分かりやすいものである。また、本書の向きを変えることで、なぞり方を変更することができ、繰り返し学習することができる。</p>				
対 象 学 年		小学部3年（重複学級）	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、両下肢に機能障がいがあり、知的発達に4歳程度の知的障がいを併せ有している児童である。また、日常生活では車椅子を使用しており、指先の緊張が強く既成の筆記用具を持って学習することが難しい児童である。また、平仮名で書かれた自分の名前や身近な物の名前を読み取ることができ、知っている物や生き物の名称を話して伝えたり、図鑑から指さしたりすることができる。</p> <p>本書では、左から右へ手指を動かしていき、直線や曲線などの動きを学習することができ、手指の動きを学習するために、効果的な絵本であると考えられる。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 凸凹の溝に指を置き、教師と一緒に動かす。</p> <p>(2) 自分で手指を動かし、溝をなぞる。</p> <p>(3) 各ページの探し絵の仕掛けを指さして見つける。</p> <p>(4) 本書の向きを変えて、手指で溝をなぞる。</p> <p>(5) 筆記用自助具で表紙のページをなぞり書きをする。</p> <p>(6) 筆記用自助具でなぞり書きをする。</p> <p>(7) 本書の向きを変えて、筆記用自助具でなぞり書きをする。</p>				

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番号	14
----	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図書名		にぎやかなりもの	発行者名	大日本絵画		
図書の内容		<p>本書は、12 ページからなり、全部で六カ所の音が出る仕掛けのある絵本である。凸部分を指や手で押すことによって「列車」「自動車」「ヘリコプター」「フェリー」「飛行機」の音が出る仕掛けとなっている。また、凸部分は、「ぼこぼこ」や「つるつる」、「ざらざら」といった材質の違う物で作られており、児童にとって触った感触の違いを楽しむこともできる絵本である。</p> <p>本書は、児童の触覚と聴覚に働きかけることで、乗り物の音や名前に関心をもてる内容となっている。</p>				
対象学年		小学部2年生(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、肢体不自由に知的障がいを併せ有している。日常生活では、全般に支援が必要である。家族の声を聞いたり、手で物に触ったりすることで表情が和らぐことがある。また、自動車やスクールバスなどの乗り物に乗っているときに穏やかな表情でいることが多い。</p> <p>絵本の読み聞かせの場面では、右手を上下に動かしたり、頭を左右に動かしたりして関心を示している。</p> <p>触覚や聴覚に働きかけながら読み聞かせを行うことで興味関心を引き出し、集中して聞く力の伸長や、イラストと名前、音と名前の関係性に気付くことが期待できる。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師による読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) ページを順番に手や指で触り、感触を楽しむ。</p> <p>(3) 音が出る仕掛けを教師と一緒に押す。</p> <p>(4) イラストを見て乗り物の名前を当てるクイズを教師と一緒に楽しむ。</p> <p>(5) 乗り物の音を聞いて乗り物の名前を当てるクイズを教師と一緒に楽しむ。</p> <p>(6) 好きな言葉や音に対して体を動かして気持ちを表現する。</p>				

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。



## 一般図書選定の理由書

番 号	15
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名		はじめてのオーケストラ	発 行 者 名	大日本絵画		
図 書 の 内 容		<p>本書は、10 ページからなり、各ページに一カ所ずつ音が出る仕掛け絵本である。凹みの部分に指や手が触れることで、「木管楽器」「金管楽器」「弦楽器」「打楽器」の音が流れる仕掛けになっている。</p> <p>取り扱っている曲は「ハンガリー舞曲第5番」である。本書は、絵とルビ付きの片仮名で使用する楽器を紹介している。また、その楽器がどのような音がするのかを凹み部分を押すことで確認することができる。最後のページには、QRコードが表示されており、タブレットなどで読み取ると、オーケストラの演奏の動画を見ることができる絵本である。</p>				
対 象 学 年		中学部1年（重複学級）	障がい種別	肢体不自由	該当教科	音楽
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、先天性による両上肢、下肢機能障がいであり、知的障がいを併せ有している。身辺処理は全介助であるが、手を伸ばして触ろうとする様子が見られてきている。また、周囲の音をよく聞いている様子が増えてきており、自分の快不快な状況を表情や声出しで伝えることができるようになってきた。</p> <p>本書は、凹み部分に触れることでオーケストラに使われている楽器の音が聞こえる仕掛けになっている。そのため、教師と一緒に絵本を読むことで楽器ごとの音の違いに気付くことが期待できる。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を見て、凹みに触れ、音を聞く。</p> <p>(2) 「木管楽器」「金管楽器」「弦楽器」「打楽器」を聞き、好きな音を調べる。</p> <p>(3) 音楽室にある楽器に触れて、音や振動を確認する。</p> <p>(4) 絵本のQRコードを読み取り、オーケストラの動画を一緒に見る。</p> <p>(5) ハンガリー舞曲第5番の曲を聞いて、曲調の違いを体感する。</p> <p>(6) 自分が好きな音がする楽器を用いて、教師と一緒に音を出す。</p> <p>(7) 友達や教師と一緒にハンガリー舞曲第5番の曲に合わせて音を出す。</p>				

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	16
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	ちきゅうのためにできる 10 のこと	発 行 者 名	チャイルド本社		
図 書 の 内 容	<p>本書は私たちの住んでいる地球を守るためにできる簡単な 10 個の事柄が書いてある、エコ育の絵本である。大版の絵本で、「こんな時どうするか」と問いかけがあり、ページをめくるとその問いの「答え」が載っているという構成になっている。問いかけに対して考える時間があるので、私たち一人ひとりの問題として考えることができるようになっている。また、説明の文章もあるが、絵が簡潔に描かれているので、何度も繰り返して読みたくなる絵本である。</p>				
対 象 学 年	小学部 6 年	障 がい 種 別	知的障がい	該 当 教 科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は知的発達に遅れがあり、4 歳程度のダウン症の児童である。身辺処理が未確立な部分があり一部支援を要するが、身の回りの事柄は一人でやろうとする姿勢が見られる。友達や教師との関わりは積極的で、発語に不明瞭さはあるが、身振りをまじえて自分の思いを伝えようとする様子が見られる。自分のことより、友達や教師のやっていることに興味をもち、そばに来て覗き込んだり一緒にやろうとして手を伸ばしてきたりすることもある。</p> <p>本書は、教師と一緒に絵本を見る楽しみのほか、エコ活動に取り組む導入となる。絵本に載っている事柄を友達や教師と一緒に実践することで、楽しんでエコ活動ができる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を読む。  (2) 本の問いかけに対して、自分はどうか考える。  (3) 本にある答えと自分の考えについて確認する。  (4) 10 の事柄を日常生活の中で実践する。  (5) 10 以外で考えられる行動を教師と一緒に考える。  (6) 教師と一緒に日常生活の中で実践する。  (7) 教師と一緒に地球を守るためにできたことや大切なことをまとめる。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の ( ) は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	17
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	ムーミンのさわってあそぶえほん	発 行 者 名	徳間書店		
図 書 の 内 容	<p>本書は、触って遊びながら、学習することができる図書である。1から5までの数、天気、色、反対言葉など、日常生活に密接する事柄について、絵や文字を見たり、素材を触ったりしながら学べるように工夫されている。素材も適当な大きさと、「ツルツル」、「フワフワ」、「ザラザラ」などのさまざまな手触りがあり、触って楽しめる内容構成となっている。また、隠れている絵を探すしかけもあり、楽しく学習することができる。</p>				
対 象 学 年	小学部2年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、両眼視力が0.01程度で、知的発達が3歳程度の弱視児である。言葉による簡単なコミュニケーションができ、移動では段差に気づきにくく、支援を要する。絵本が好きで、見る際は、視距離を約4センチメートルに近づけて見る。</p> <p>本書は、視力が低い本児にとって認識しやすい色づかい、イラストの輪郭、絵の大きさに加え、適宜異なる素材が施しており、関心を引き出す内容となっている。「ツルツル」、「フワフワ」などの素材の感触とその言葉を結びつける他、光の反射による素材も楽しみながら、物の名称や反対言葉を覚えることができる。親しみやすいキャラクターであるムーミンの本書をとおして、興味・関心を広げ、日常生活につなげたい。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 「いろいろなことば」で、キャラクターが何をしているのか、絵を見て答える。  (2) 「かぞえてみよう」で、数字と絵を見る。  (3) 「いろいろなおてんき」で、さまざまな天気があることを学習する。  (4) 「いろのなまえ」で、絵を見て、色の名前を学習する。  (5) 「はんたいことば」で、絵やしかけから、反対言葉について学習する。  (6) (1)～(5)で、教師と一緒に素材に触る。素材に触りながら、「ツルツル」「フワフワ」などの言葉を復唱する。  (7) 実物を使って、内容と同じように操作する。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	18
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	世界一周 めいろうのたび	発 行 者 名	永岡書店		
図 書 の 内 容	<p>本書は、世界中の都市をモチーフにした迷路が48種類、掲載されている絵本である。上下が2冊に分かれた不思議な迷路で、各ページにある乗り物を探し、乗り継いで、迷路をクリアするという内容である。単なるスタートからゴールまでたどるだけでなく、迷路の中に見つけてほしい各国の名所が示されており、それを見つげながら楽しく諸外国について学習できるよう工夫されている。世界48国について学びやすい図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	社会
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、知的発達が10歳程度の知的障がいの生徒である。学習面においては、小学校低学年から中学年程度の内容に取り組んでいる。基本的な生活習慣も、ほぼ確立している。テレビやインターネットから知り得た情報を周りの人に伝えることで、コミュニケーションをとったりする。</p> <p>本生徒にとって、本書の迷路たどりは、都市の名所も見つげながら、世界を学ぶために適した内容と構成になっている。諸外国、都市の学習することに併せて、外国の文化や言語への関心も広げたいと考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 本書の使い方を知る。  (2) 迷路に取り組む。  (3) ヒントをたよりに迷路をつなげる。  (4) 諸外国の名所と乗り物について、絵や文字でカードにまとめる。  (5) 世界地図や地球儀で、48都市の場所を調べる。  (6) 世界で活躍しているオリンピック選手・パラリンピック選手の出身国を調べる。  (7) 調べたことを発表する。</p>			

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	19
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	47 都道府県を旅しよう！ にっぽん全国のさがしもの		発 行 者 名	PHP 研究所	
図 書 の 内 容	<p>本書は、「いなりひめ」が病気になってしまい、「いなりひめ」が食べたいと言っている日本全国のおいしい食べものを探す旅に出発したというストーリーになっている。47 都道府県を巡り、郷土料理やご当地グルメ、お土産などを探す絵探し絵本である。色彩豊かなイラストとなっているので、見ているだけでも楽しい。各地の観光名所を楽しみながら学習でき、絵探しをとおして、各地の名物も知ることができる。さらに、日本の全ての都道府県が網羅され、日本地図も掲載されていることから、地図の学習にもなる。</p>				
対 象 学 年	中学部1年（重複学級）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	社会
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、聴力が左右とも 80dB の聴覚障がいと知的障がいを併せ有する生徒である。補聴器を活用しており、ある程度のコミュニケーションは取ることができる。小学校中学年程度の学習を行っている。</p> <p>本書は、食べ物がキャラクターになっていて、楽しいイラストが全面にあるので取り組みやすくなっている。日本地図を見ながら、日本各地の特徴を捉えたイラストを見ることで、地理の学習と日本各地の特徴を同時に楽しく学習できる。さらに、本生徒の興味や関心を広げるきっかけとしていきたい。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 自由に絵本を見る。  (2) 教師と一緒に日本地図で場所を確認しながら、1 ページずつ (3) (4) に取り組む。  (3) 各都道府県の名所の特徴を発表する。  (4) 4つの名物の絵探しをする。  (5) 全て取り組み終わった後に、行ってみたい都道府県を発表する。  (6) 行ってみたい都道府県をタブレット等で再度調べてみる。</p>			

## (記入上の注意)

- 1 対象学年の ( ) は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

## 一般図書選定の理由書

番 号	20
--------	----

学校名 \_\_\_\_\_

担当者名 \_\_\_\_\_

図 書 名	指さし・指なぞり あいうえお	発 行 者 名	ひかりのくに		
図 書 の 内 容	<p>本書は、立体的なデザインのひらがなを指なぞりしながら、併せて動物写真も活用することで、文字の学習ができるような内容構成となっている。まだ鉛筆を持つことが難しい段階であっても、ひらがなを指でなぞることで、文字の形をとらえることができる。また、例えば「さ」の場合、動物写真の「さる」に加え、イラストで「さい」「さくらんぼ」「さつまいも」の紹介もあり、言葉の広がりにも効果が期待される。</p>				
対 象 学 年	小学部3年(重複障害)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、両眼視力0.05程度の弱視で、知的障がいを併せ有し、発達年齢は3歳程度である。幼児期での経験の幅が狭いが、これまでの学習や体験をもとにした言葉の広がりが出てきており、自分の名前や時間割などの身近な文字にも興味をもつようになってきている。</p> <p>本書は、ページを開くと、左には動物の写真、右には大きくひらがな一文字が大きく施されており、児童にとって見やすいレイアウトである。文字の太さも適当で、輪郭が影になっているので、文字の色が多少薄くても指なぞりしながら形をとらえることができる。また、その文字がつく動物や身の回りの物にも触れることができるので、経験値の少ない児童にとっては、言葉の広がりにも期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 自由にページをめくり、自分の知っている動物、文字を言う。  (2) 自分の名前にある文字を指でなぞる。  (3) 動物写真やイラスト見て、復唱し、指でなぞる。  (4) ワークシートで、鉛筆やクレヨンで文字をなぞったり、書いたりする。  (5) 実物を触ったり、タブレット端末の動画や写真を見たりする。  (6) (3)～(5)を繰り返す。</p>			

## (記入上の注意)

- 対象学年の( )は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
  - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
  - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。